

■ 『あかね台自治会』 の理念 ■

Vision

私たちが目指している世界

世代を問わず笑顔が溢れ、

『この街が好き』『この街に住みたい』と思える地域コミュニティにする

Mission

私たちが実行すべきこと

①新時代に合わせ変革し持続可能な自治会にする

②誰もが参加したいと思える自治会にする（世代問わず家族でも気軽に参加できる）

③今まで先輩方が築きあげた良い風土を継承する

Method

私たちの方法・方式
※毎年度更新

◆来年度から実運用◆

①・業務の最小化と負担軽減・自治会運営のハードルを下げる
班の再編成、組織改正、役員や班長業務の見直し
・事業により財源を確保し外注化することで自治会運営の負担軽減
・コミュニティバスの運用開始（地域のつながりを活性化）

②・役員選出は推薦や立候補制。
・役員に報酬制度の導入
・行催事の企画運営には実行委員会形式を採用。幅広く人材を募る。
・部長会はオンライン開催。月に1回の班長会は誰もが参加可能。

③・催事は継承。継続していく仕組みの構築。

大項目	問題	対応方針	状況	完了目標時期	担当
地域 高齢化	班長活動 難化 ・班長候補者の減少 ・班長としての負荷増加	年齢バランスを考慮した班の再統合	<ul style="list-style-type: none"> 各班の年齢構成層を調査済 統合案を検討中。来年1月にて、説明会（総会の事前会）を行う。 	案策定 ~10月 案施行 ~2月	企画部 發田さん
		班長ワークのスリム化 現状の負荷は、 <ul style="list-style-type: none"> 班長会へのリアル参加（場所、時間の指定） 地域のゴミトラブル フォローなど 	<ul style="list-style-type: none"> line/Web回覧への集約・誘導（希望者に対し） → 班の再統合時に整理する★ 班長会のWebオンライン化（開かれた自治会化の意図も兼ねる） → 技術的にはすぐに実施可能。 アプリ選定（Zoom?）、参加者範囲（誰でも?） 班長会の時間短縮化（30min） → 徐々に。議論中の案件が整理できれば可能と考える 班長マニュアル策定 	Webオンライン 年内には Line/Web回覧 班長マニュアル ~1月	取り纏め（相談中）
	各団体の高齢者化に伴う自治会運営、イベント実施の難化	各部業務のスリム化	スリム化案の策定中 <ul style="list-style-type: none"> 総務：議事録 自動化？(AI自動筆記) 他できないか？ 会館運営：予約オンラインシステム化、会館掃除の外注化 催事：内容のUpdate、プロジェクト運営化 会計、監事、交通防犯、防火防災、企画・・・これから検討 	負荷実態 可視化 ~11月 スリム化案策定 ~1月	各部
		プロジェクト（希望者）運営への変更	<ul style="list-style-type: none"> 来年度のイベントに対しては、これから★計画的に、必要な人数集められるか 東海大学生がボランティアとして声を上げて下さっている話あり。大学連携？ 	~来年3月	取り纏め（相談中）
		運営内容・イベント内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> やりたいこと、やらなくてもいいこと、重要視してほしいこと → 来年1月に来年度運営コンセプトの、説明会を実施して、すり合わせする そこまで任意で要望やコメントを町内から募集する 	検討 ~1月 Fix ~2月	伊東
		役員の報酬制度化による 役員アウトプットの最大化（責任明確化）	<ul style="list-style-type: none"> 予算確保の目途がたってから。 例・・・1名1万/月 x 12か月 x 10人=120万円 	~12月	有馬さん
		外注：あかね台アルバイト部	<ul style="list-style-type: none"> 外注内容の検討、部員の募集、運営案の策定から 	~12月	取り纏め（相談中）
		外注：Sketteerなどの外部福祉サービス	<ul style="list-style-type: none"> 外注内容の検討、予算確保の目途がたってか 	~12月	
		高齢者の移動 難化	移動手段として、あかね台ワゴン 運営	<ul style="list-style-type: none"> 介護施設から10人乗りワゴン借用済 運用案、運転手の募集はこれから★ 	10月中 スタート
	予算確保	カラス問題のサポート、 外注や報酬制度に対して 予算が確保できてない	事業運営：広告収入	回覧板、LINEでの広告事業	未定
事業運営：あかね台ワゴン			省略（上記）	10月中	
本年度：各部の余剰予算の確保			<ul style="list-style-type: none"> 各部 余剰金の抽出検討から 	~11月	
来年度：予算への組込、繰越金の運用策定			<ul style="list-style-type: none"> 予算案、運用案の検討から 	~1月	
カラス問題	ケージ導入サポートが決定も、 予算確保が進んでおらず、 実施の目途が不透明	本年度：各部の余剰予算の確保 来年度：予算への組込、繰越金の運用策定	↑に同じ	↑に同じ	先導 →会計 遠藤さん 各部案件 →各部 部長